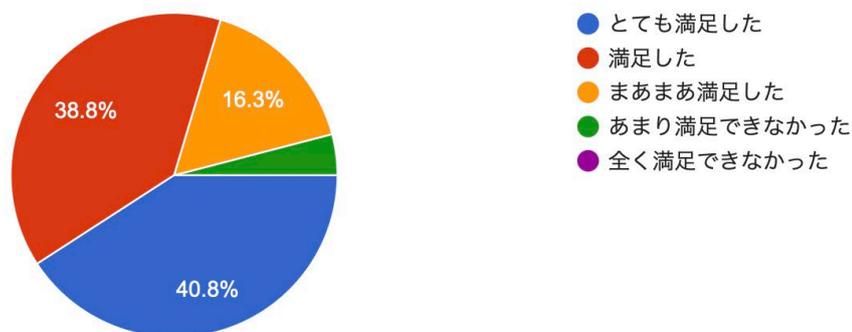


## 第 11 回プラスチック削減オンライン連続セミナーアンケート結果

本日のセミナーの満足度を 5 段階からお選びください

49 件の回答



本日のセミナーの中で最も印象に残ったところは何でしたか

広い視野と大きな目標のもとで進んでいること

リユースがもっと便利になれば拡大していくということ

弁当容器で行った実証実験の結果を、もっと知りたいところです。

loop への理解が進みました。ありがとうございました。

社会実験とも思える実践を行っていることに感激と感謝

「捨てるという概念を捨てよう」のスローガン

リユースビンの、日本と世界の現状の違い

既存容器でもリユースに利用できること、キシリトールガムの美しいボトル、リニアエコノミーという言葉  
を新たに知ったこと

BtoB & BtoC の並走を今後試みる事。現状関西では殆ど見かけません。

LOOP の取り組まれていることが少しずつ広がっていることがとてもうれしく感じました。課題はある  
かと思いますが、今後、市民の参加・定着につながることを期待します。今日はありがとうございました。

購入した店で返せるなら、回収率は大きくなる。一般消費者も返却できるなら返却したいという気持ち  
がある。

詰め替え容器に入れるリフィルもゴミになる。

欲しい商品がないが、今後環境に良い商品を出すようにしている。

どうすれば「企業が参加しやすいか」、どうすれば「消費者が返そうと思えるか」、どうすれば「インパ  
クトが大きくなるか」など、アプローチの視点がとても勉強になった。

価格が上がっても容器包装のこと考える人が増えたこと。テレワークの流れは100%は元には戻ら  
ないと思うので。

コロナ禍でリモートワークをするようになって、ゴミ問題を意識するようになった人が増えたこと  
イオンでの実証実験

- 1) 返却できる場所が増えれば、サーキュラーエコノミーのルートに乗り、プラ削減が進むということ。
- 2) 最初のコストは、消費者も応分の負担をせざるを得ないこと。

リユースのことをもっと広め進めていきたいと思った。

LOOP の仕組みが印象的でした。

また、ひろしまにも導入されていたので、とりあえず見てみたいと思います。

ありがとうございました。

オフィスや様々なところでお弁当などの容器のリサイクルの試みをしている点

オフィスビルでの弁当箱の回収率が 100%というのは国民性かと思いましたが、包装に対する考え方がコロナ禍で急激に変化したのは喜ばしいことだと思いました。(蛇足ですが、個人的には生活クラブのリユースびんを返却することによって LOOP と同様なことができていますが、かねがね食品トレーなどいろいろなものの規格を統一して使い捨てしなくてよいデポジット制などがあればと妄想していましたので) LOOP や同様なシステムが広がることを期待しています。

中国がプラごみ輸入拒否し東南アジアに輸出の日本のプラが海に放出。玄関先だけきれいにこの日本…。

ゼロ・ウェイスト

コロナ禍で環境に配慮された包装に対する意識が高まったということ。

リサイクル事情や最前線がよくわかった

沢山のデータ化をされ 発表した

海洋汚染プラスチックの利用がここまで広がっていることに驚き良い事と思うがプラスチは健康な子孫を残すために出来るだけ早く無くさなくてはならないと思います。世に出てしまった

プラスチックの利用には悩ましいところです。

米国発進のグローバル企業には警戒心がありました、新しい取り組みのグローバル企業の誕生ですかね。世界を Leep が制覇するのでしょうか、さて、さて？

容器に対する価値感の転換を図ったところが印象に残った。

使い捨て容器の場合、コストもできるだけカットするという考え方になる。一方、容器を再利用するとなれば、それは資産であり価値があるという考え方にかわる。容器が資産であるから価値をつけて長く使えるものにする、企業の製造責任の課題についても解決策が見つかるように思った。現在はまだ、容器＝価値がないという考え方なのでプラごみばかりが増えてしまっている。できるだけ早く容器＝価値のあるものだという価値の転換を図る必要がある。

私はテラサイクルさんを存じ上げなかったのも、お話を伺って、とても頼もしく心強く感じました(廃プラ問題を知れば知るほど、暗い気持ちになっていたのも)。ハーゲンダッツのステンレス容器は、おしやれで素敵で利用したい！と思いました。こんなふうに、人々の間に LOOP やリユースの概念が浸透していき、「常識」になっていくと良いと思います。カワバタさんのご好意でいただきました資料を読み返し、さらに理解が深まりました。ありがとうございました。

Loop のコンセプトの一つ、「容器の所有権をメーカーに」という考え方

廃プラ 180 マントン東京ドーム 7 個分

日本は、世界で 2 番。

ステンレスのボトルがかっこ良かったです。

リユース容器の普及で使い捨てリサイクルからリユースへのシフトが進むことを期待したい。ただ、専用容器による商品コストは使い捨て商品より高くなるとのこと。本当に環境にやさしい物はローコストであるべき。容器は耐久性があれば見てくれにはこだわらず、簡素なもので良いのではないか。また、既存のリユース容器(特にびん類)の活用拡大に取り組んで欲しい。

捨てるという概念を捨てようというフレーズと、そのことの実践がすすみつつあること。それと、知ってはいましたが、日本の一人当たりのプラスチック容器包装排気量が世界 2 位ということ。

途中参加となり、始めのお話が聞いていません。

テラサイクルの活動が良くわかった。Loop の広がりに期待したい。

データを配信された事。

事例が示されたことが良かった。

容器は資産という考え方、リサイクルに満足している現状

送信しましたが、、、、

日本はインフラが整っていて仕組みを作りやすい、とのこと。

関係各方面が協力連携することで大きな仕組みができるんですね。

まず、小さなところから、やっていけるといいですね！

このシステムが世界中に広まりつつあること

消費者の行動変容が必要だと感じました。

日本が 1 人あたりプラ排出量 2 位であること。でも 3、4 位と僅差。

リユース、リサイクルを実践している事例を知ることができた

LOOP の取組がわかったこと。地方では県内の実施がまだのようなので。

本日のセミナーの難易度を 5 段階からお選びください

49 件の回答

